

こころとからだに 寄り添い支える



隈庄飛行場とくまもと南部広域病院

今年は戦争終結から数えて丁度80年の節目の年に当たります。80年前、このくまもと南部広域病院がある場所には、旧日本陸軍の隈庄飛行場がありました。今病院が建っている場所に飛行場の建物があり、滑走路を含めた敷地全体は現在の火の君文化センターの辺りまで広がっていたそうです。現在も火の君文化センター駐車場の隅には、飛行場時代を偲ぶ記念碑が建っています。



陸軍大刀洗飛行学校隈庄分教所（後の隈庄飛行場）

終戦後、飛行場は結核療養所となり、やがて(財)化学及血清療法研究所がその運営を引き継いで「緑ヶ丘病院」が発足しました。緑ヶ丘病院はその後「城南病院」へと名を変え、そして平成の熊本地震を乗り越えて「くまもと南部広域病院」となり、現在へと続いています。そういった歴史を踏まえまして、くまもと南部広域病院は来る10月5日(日)に火の君文化センターにて、戦後80周年を記念するイベントを開催いたします。詳しい内容等は今後お知らせする予定です。



飛行場時代の門がそのまま使われていた城南病院正門

フォレストリーグズ熊本から記念ボールの贈呈を受けました



町田院長と釜元選手

当日はフォレストリーグズ熊本の選手で、当院関連施設の生活応援デイサービス「エール」に勤務する職員でもある釜元さんから、町田院長に対し自身のサインも入っている記念ボールが手渡されました。「お疲れ様でした」と労う町田院長に釜元さんは、「今季も頑張ります」と答えています。このボールは現在、くまもと南部広域病院の総合受付にポスターと共に飾られています。

くまもと南部広域病院はこれからも、フォレストリーグズ熊本を応援してまいります。

2025年6月12日、当院がサポーターをしている女子Vリーグチーム「フォレストリーグズ熊本」より、選手達のサイン入り記念ボールの贈呈を受けました。昨シーズンのフォレストリーグズ熊本はリーグ通算4位の好成績でプレーオフへの進出を果たすなど、快進撃と言って良い大活躍でした。くまもと南部広域病院の職員も、会場で選手達に大きな声援を送りました。

今回の贈呈はそんなフォレストリーグズ熊本の戦果報告と、くまもと南部広域病院の日頃の応援に感謝の意を込めてのものだそうです。



総合受付前に飾られたボールとポスター

地域での暮らしを支える医療・介護に興味がある方！

現在募集中の職種

看護師・介護職・精神保健福祉士（パート・アルバイト）・院内清掃スタッフ

くまもと南部広域病院では、職員の採用を積極的に行っております。施設見学や説明会は随時行いますので右記お問い合わせ先までご連絡ください。パート勤務ご希望の方も大歓迎！

※新卒看護師募集！→<https://x.gd/19nWp>

一緒に働いていただける方
お気軽にお問い合わせ下さい！



くまもと南部広域病院 企画課
採用担当 橋本（はしもと）
TEL 0964-28-2556

理念

働く職員の幸福を追求するとともに、医療・介護・予防事業を通じて、地域の方々が住み続けることのできる地域社会づくりに貢献します。

